



市立大津市民病院
Otsu City Hospital

令和5年度

市立大津市民病院初期臨床研修プログラム



市立大津市民病院臨床研修病院群

基幹型臨床研修病院

地方独立行政法人市立大津市民病院

協力型臨床研修病院

滋賀県立精神医療センター 京都府立医科大学附属病院

京都大学医学部附属病院 滋賀医科大学医学部附属病院 医療法人明和会琵琶湖病院

研修協力施設

医療法人良善会ひかり病院

医療法人幸生会琵琶湖中央病院

長浜市立湖北病院

ハッピーねもとクリニック

医療法人滋賀勤労者保健会坂本民主診療所

医療法人滋賀勤労者保健会膳所診療所

滝本医院

医療法人なかじま内科クリニック

医療法人西山医院

医療法人社団新緑会森井眼科医院

米村小児科

医療法人社団弓削メディカルクリニック

医療法人社団湖光会湖山クリニック

病院の概要

所在地 : 大津市本宮二丁目9番9号
開設者 : 副理事長 若林 直樹
開設年月日 : 昭和12年4月1日
院長 : 日野 明彦
病床数 : 401床
診療科目 : 内科 消化器内科 呼吸器内科 呼吸器外科 脳神経内科 循環器内科 精神・心療内科 小児科 外科・消化器外科・乳腺外科 整形外科 脳神経外科 心臓血管外科 リハビリテーション科 産婦人科 眼科 耳鼻咽喉科 泌尿器科 皮膚科 歯科口腔外科 放射線科 麻酔科 形成外科 病理診断科 救急診療科 緩和ケア内科
医師数 : 100人
指導医数 : 46人(臨床研修指導医講習受講者)
一日平均外来患者数 : 781人(令和3年度実績)
一日平均入院患者数 : 297人(令和3年度実績)

研修プログラムの名称及び募集定員

プログラムの名称: 市立大津市民病院初期臨床研修プログラム

コースの名称	定員	研修病院
本院通年コース	9(予定)	2年間: 地方独立行政法人市立大津市民病院

基幹型臨床研修病院: 地方独立行政法人市立大津市民病院

協力型臨床研修病院: 滋賀県立精神医療センター、京都府立医科大学附属病院、
京都大学医学部附属病院、滋賀医科大学医学部附属病院
医療法人明和会琵琶湖病院

研修協力施設: 研修資料参照

研修実施責任者: 院長 日野 明彦

プログラム責任者: 臨床研修センター長 城 正泰

臨床研修センター次長 中澤 純

研修プログラムの特色



1、研修医を中心とした自主的運用を重視

研修医長制度により、研修医長を中心に意見集約や院内会議への出席、臨床研修センターとの意見交換会などを通して積極的に研修運営に関与し、研修医個々の研修意欲や希望を最大限に実現することができる体制があります。当院はこのように研修医の自主的運用を重視しており、希望する研修の設定や選択研修の調整、症例検討会など、柔軟性の高い研修計画を立てることが可能です。

2、「ER おおつ」を活用した研修の充実

第二次救急医療機関である当院は、24 時間 365 日“とまらない救急”「ER おおつ」において研修医が救急患者のファーストタッチを担っており、Common disease を通して日常診療で頻繁に遭遇する病気や病態に適切に対応できるようプライマリーケアの基本的な診療能力を身につけることができます。また、救急だけでなく、他科においても、市中病院だからこそ多くの Common disease を経験できることや、適度な研修人数のため研修医1年目から多くの手技を経験できる学びの環境があります。さらに、救急搬送患者のうち、重傷例に関しては、集中治療室(ICU)で治療に伴い、他科と連携した全身管理を経験することも可能です。

3、学びの自由度が高い！

1年目にほぼすべての必須科目を履修することで、2年目は選択科目の自由度が高いプログラムとなっています。また、3大学病院と17施設の医療機関・クリニックと協力病院として提携しており、Common disease だけでなく Academic な研修も可能なため、後期研修の視野を広げることができます。その他、医療情報検索データベースの充実や勉強会・カンファレンス・症例検討会など、研修医の主体性・自主性次第で得られる学びが豊富にあります。

臨床研修は自己研鑽が基本です。知識や技能の修得はもちろんですが、人格の涵養に重点を置き、医師としての人格教育を基本として、探究心と医の心を持つこと、そして社会人として尊敬される医師の養成を目指しています。当院では、将来の進路にとらわれず、初期治療・救急医療などの基本的な知識・技術を修得すると共に、患者の立場に立って思いやりと気配りのできる医師が目標です。

研修のスケジュール

1年次	内科 (24週)			小児科 (4週)	救急 (4週)	精神科 (4週)	産婦人科 (4週)	外科 (4週)	麻酔科 (4週)
2年次	救急 (8週)	地域医療 (4週)	選択科目 (44週)						

※研修期間は、プログラム改正により週単位に変更されたため「〇週」と記載しているが、
当院は原則月単位でローテートを行う。

◇ 1年目研修

内科(24週)、精神科(4週)、産婦人科(4週)、小児科(4週)、外科(4週)、救急(4週)、麻酔科(4週)【当院独自の必須科目】を必修とし、精神科と産婦人科については、研修協力施設で行う。

◇ 2年目研修

地域医療研修(4週)、救急(8週)を必修とし、残りを選択科目とする(ただし、1年目の未到達科目がある場合は再履修とする)。地域医療研修は、15研修協力施設から選択し、研修を行う。

2年目の選択期間中、協力型臨床研修病院(京都府立医科大学附属病院、京都大学医学部附属病院、滋賀医科大学医学部附属病院他)を利用した院外研修も可能であり、希望者は希望診療科・研修期間等についてプログラム責任者の指導を受けた上で研修できる。(ただし、8週を上限とする。)

一般外来については、2年間の研修期間を通して、総合内科(3週)、小児科(1週)の4週を必須とする。
(※地域医療研修での一般外来も対象とするが、研修日数については、特に定めはない。)

ローテート可能な診療科

救急診療科、内科、外科・消化器外科・乳腺外科、麻酔科、小児科、精神科、産婦人科、緩和ケア科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、整形外科、心臓血管外科、呼吸器外科、脳神経外科、泌尿器科、放射線科、リハビリテーション科、臨床検査、病理診断科、集中治療部、感染症科

年間行事(教育関連)

- 新規採用職員オリエンテーション <4月、1週間程度>
(診療の基本や医療倫理、各部門からの包括的な病院業務研修、検査・手技実習、社会人としてのビジネスマナーや接遇研修等)
- 研修医・臨床研修センター意見交換会(研修管理委員会) <9月>
(臨床研修センター・研修管理委員・指導医との意見交換や研修中間評価等)
- リフレッシュ研修 <9月>
(1年目研修医、2年目研修医代表、指導医代表等による西教寺での宿泊研修(1泊2日))
- 院内研修への参加
(CPC、医療安全研修会、感染対策研修会、緩和ケア講習会、各セミナー・講演会等)
- 院外研修
(WATCH in Shiga 等、滋賀県主催行事)
- 各診療科における症例検討会・抄読会・勉強会・合同カンファレンス等
- 研修医が設定した研修
(ERカンファレンス・症例検討会等、研修医運営による研修事業)
- 臨床研修センター事業
(基本的臨床能力評価試験(研修医2年目のみ))
- 大津市総合防災訓練(6月)、院内災害訓練(11月)
- 修了式(3月(2年目研修医のみ))



4月 シミュレーター研修



9月 西教寺でのリフレッシュ研修



9月 研修管理委員会



3月 修了式

院長からのメッセージ

報道のとおり、当院は前管理職員と現場医師達の間の人事を巡るトラブルによって、常勤医師が多数退職するという問題に直面しました。ちゃんと診療できるのか？医師として充実した研修ができるのか？という声が上がするのも当然です。しかし、当院 800 名の職員はこの件に全く関りがなく、現場で献身的に働いています。診療レベルは全く落ちておらず、むしろ士気は上がっています。当院には様々な大学出身者が働いていますが、患者さんの前で必要なのは、高い技量と患者さんを助けようとする熱意であり、出身医局は意味をもちません。臨床の現場では、教科書に書いていないことがたくさんあります。当院では、医師として不可欠な、実践的な技量を身に付けていただくことを優先目標として、皆さんの研修を支援します。



臨床研修実施責任者
院長 日野 明彦

センター長からのメッセージ

当院では多数の common disease はもとより、rare case も経験できます。発熱外来(感染症 ER)、ICU 診療も充実しており、救急疾患の初期対応から専門医療まで幅広く学べます。臨床研修センターでは研修医個々の目標を尊重したプログラムを用意しており、後期研修への継続性を踏まえた指導・支援体制を目指しています。2年間で医療人としての個々の役割(My goal)を見極め、あせらず My goal を目指してください。熱意のある諸君を待っています。



臨床研修センター長
城 正泰

“武士(もののふ)のやばせの舟は早けれど急がば廻れ瀬田の長橋”

研修医について

<研修医数>

- 1年次 本院採用:9名
 - 京都府立医科大学附属病院(たすきがけコース):1名
 - 滋賀医科大学医学部附属病院(たすきがけコース):1名
- 2年次 本院採用:9名
 - 京都府立医科大学附属病院(たすきがけコース):1名
 - (たすきがけコース関連病院)

京都府立医科大学附属病院、京都大学医学部附属病院、滋賀医科大学医学部附属病院

<出身大学>

京都府立医科大学、京都大学、滋賀医科大学、宮崎大学、獨協医科大学、奈良県立医科大学、大阪大学、鹿児島大学、近畿大学、関西医科大学、福井大学、高知大学

研修医からのメッセージ

研修医が望んでいる研修により近づけるように、毎年研修医と指導医・臨床研修センターとの間でディスカッションを行う機会があり、研修医室の設備や研修医側の要望、ローテーションの組み合わせ・微調整など耳を傾けていただいています。



1年目から月に平均3~4日程度の当直の中で救急外来でのファーストタッチをさせてもらえるので救急に強くなれます。慣れてくれば、かなりの範囲の裁量権(検査オーダーや投薬など)を与えられ、責任感と緊張感のある中で仕事に臨みます。しかし、必ず上級医との当直ですし、ICU当直として救急部もしくは外科の上級医の先生方がおられるので、一人で放置されることは絶対にありません。「自分の力の範囲の中では仕事を任せられ、自分の力を越えたと思えば必ずコンサルト出来る」という最も研修医が成長しやすい環境です。



研修医が希望すれば、各科の先生や技師さんによるエコー指導・採血など、研修医向けの勉強会・実習を開催していただけます。必修診療科に含まれていない診療科(放射線科や皮膚科など)の先生方からも、これは最低限知っておくべきという内容を教えて頂けますので、全身的に患者さんを診ることを考える上で非常に貴重な機会です。



当院では選択期間が長く、選択科目の決定は柔軟に対応できます。翌月の選択科目について、各診療部長に相談し了承を得た上で、前月に提出することもありなどフレキシブルに対応していただけます。また京都府立医科大学・京都大学・滋賀医科大学の3つの大学と関連する病院であるため、相談次第でどの大学の診療科もローテート先に選ぶことができます。また各科の垣根が低く、ローテートしている科以外の先生にもコンサルトしやすい環境ですし、すぐに顔を覚えてもらえます。



研修医室は医局とは別であり、一人ずつデスクが与えられ、仮眠室、シャワールームもあるので当直のときも快適に過ごせます。病棟からは琵琶湖を一望できる所があるので夜遅くなっても大津市の夜景に癒されます。また抄読会や学会発表に必要な文献は図書室内に和洋雑誌が多くありますし、院内で医療情報検索データベースを用いて検索もでき、設備が充実しています。休暇は、夏期休4日と年休5日以上取得でき、病院全体がとりやすい環境です。「当直明けの日の午後は帰宅してよい」というルールがあり、しっかりと身体を休めることができます。



病院周辺



JRと京阪が停車



琵琶湖花火大会



浜大津港・噴水



湖周道路



病院から見える景色



Oh! Me 大津テラス



膳所公園 花見



京都も圏内



なぎさのテラス

大津市は意外と田舎じゃない、京都まで JR で 11 分

滋賀県だからって田舎と思ってはいけません。病院周辺は、ショッピングモール「Oh! Me 大津テラス」や映画館・スーパー・ドラッグストア・家電量販店・ホームセンターなどがあり、湖周道路や琵琶湖沿いにあるカフェでは、休日、犬のお散歩やランニング、ロードバイク、釣りなど愉しまれている人が多く、自然を感じながら快適な暮らしができます。

また、京都まで11分(JR)で行くことができ、アクセスも抜群に良いので、大津市はベットタウンとして、自然に囲まれながら生活できる都市として近年人気でもあります。京都で開催される勉強会にも足をのばしやすいです！

研修医の待遇

身分	研修医(地方独立行政法人市立大津市民病院嘱託職員)
給与	1年次:320,100円(月額)、2年次:330,600円(月額)【令和4年度実績】
手当	通勤手当、期末手当、時間外手当等の支給基準は別に定めるところによる 当直手当(1回:1万円)
勤務時間	原則として午前8時30分から午後5時15分まで(週38時間45分)
休日	土曜日、日曜日、祝日、年末年始(12月29日から翌年1月3日まで)
休暇	年次有給休暇:年20日 (4月1日から翌年3月31日まで) その他の休暇については別に定めるところによる
研修活動	学会等への参加可能 演者の場合(年1回に限り):10万円を限度に旅費、参加費(1万円上限)を補助
保険	健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険、病院賠償責任保険・勤務医賠償責任保険に加入
健康管理	定期健康診断(年2回)、電離放射線健康診断 小児系感染症(麻疹・風疹・ムンプス・水痘)、B型肝炎の抗体価検査、ワクチン接種、インフルエンザ予防接種(全て病院負担)
研修医室	仮眠室、ロッカー、個人用デスクあり
その他	院内保育所、食堂、コンビニエンスストア、理容室、洗濯室、自動販売機等あり

募集要項及び資料請求先

応募資格	医師国家試験合格予定者
募集人員	9名(予定)
研修開始日	令和5年4月1日
出願期間	当院HPにて公開予定
試験日	当院HPにて公開予定
出願書類	① 臨床研修申込書(当院所定の様式) ② 履歴書(当院所定の様式) ③ 面接カード(当院所定の様式) ④ 成績証明書 ① ②・③はホームページに様式掲載
選考方法	書類審査と面接による
採否	マッチングによる
応募連絡先	地方独立行政法人市立大津市民病院法人事務局総務課
連絡先	TEL:077-526-8516 FAX:077-521-5414
E-mail	och3510@och.or.jp
URL	https://www.och.or.jp/
Facebook	大津市民病院臨床研修センター

交通案内

JR膳所駅下車徒歩10分程度

